流通経済大学付属柏中学校 完成

2023年４月 開校

付属高校と連なる新しい学舎

生徒を迎え入れる大屋根の中学校エントランス

学校法人日通学園流通経済大学（茨城県龍ケ崎市、野尻俊明理事長）は、千葉県柏市の付属高校に隣接して建設が進められていた中学校が完成し、開校を迎えた。校舎として活用しやすい動線、生徒の記憶に残るデザインなど、流通経済大学のキャンパス理念を豊富に盛り込んだ。設計施工を清水建設が担当した。

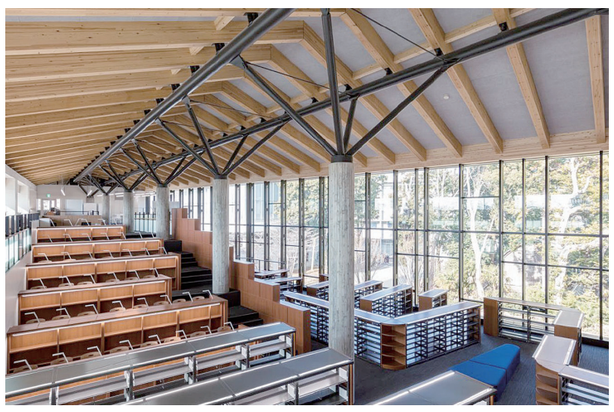
グローバル社会に通ずる人材育成を

流通経済大学付属柏中学校 校長 **赤城　政広**

本校は2025年に創立40周年を迎える付属高校との中高一貫教育をめざし、開校するものであります。ともに母体となる学校法人日通学園、流通経済大学の教育理念に基づき、グローバル社会に通ずる人材育成を図ることが本校の目的であり、育成教育のなかでも最も早い時期に社会との接点を持つ義務教育として重要なポジションを任されることとなります。

知識を習得する座学にとどまらず、実学に注目し校外学習による地域社会とのつながりもカリキュラムに加え、地域社会から国際社会へと広い視野を有する将来の担い手を輩出すべく、基礎学力の育成を進めてまいります。何よりも本学で学ぶ3年間という時間において、新しい校舎が仲間や行事と共に思い出に残る「まなびや」として親しまれることを願ってやみません。

広がりを感じる昇降口



木質空間の図書・メディアセンター（清水建設提供）

GIGA SCHOOL対応の普通教室

生徒の活動が垣間見られる特別教室

設計コンセプト

令和を迎え日本の初等・中等教育は大きく変化をしている。文科省の学習指導要領の大幅な改訂に見られるように、実社会に混在する複雑化・多様化した課題を解決するため新たな「生きる力」を子供たちに身に付けさせる「主体的・対話的で深い学び」の教育が求められている。今回、中学校新設に向けそのような新しい教育や学修が実践できる教室棟（１・２号館）と図書・メディア棟を学園とともに計画した。

「未来創造力」を育む緑のキャンパス

５万冊収蔵の図書・メディア棟では、グループ学習や能動型授業が行える場所を各所に配するとともに、科学や工学そして創造性などを融合したＳＴＥＡＭ教育、情報リテラシー教育、グローバル教育などがスパイラル状に有機的につながる施設づくりを行っている。

空間デザイン的には、キャンパスの象徴である正門から続くケヤキ並木と生徒の活動を映し出すガラスの外観と、建設場所に存在していた並木の記憶を継承する建物中央の樹形柱の列柱、そして、生徒・教職員たちを迎え入れるサスティナブルな木造大屋根空間など、「記憶の継承・形態の発展・空間の進化」をテーマに、緑の中の学び舎を創出した。

中学・高校をつなぐこの学び舎が学修及び活動の新たな中心となって、将来にわたり子どもたちが「未来を切り開く力」を身につける居場所になることを期待している。

清水建設株式会社　設計本部　教育・文化施設設計部　石原政幸

施工のポイント

付属高校に隣接する中学校建設は、資材搬出入や作業員の通勤時間を通学時間帯から外し、安全確保に努めるところから開始された。

現場を担当した藤田敏彦工事長は「付属高校の日常授業、年間行事の妨げになってはいけない。特に受験期間は敷地内への立ち入り自体を自粛しなくてはなりません。作業中断の年間日数を考慮し工程管理することが、学校建設の重要課題です」と説明する。

その上で不確定要素にも対応した。最も苦慮したのは物価上昇による資材高騰と、その背景にあるロシア・ウクライナ戦争のあおりを受けた一部資材の国内入荷遅れだ。情報を収集し、様々な関係者と事前調整しながら資材調達が行われた。

工事面では、２棟あわせて延べ約9000立方㍍に及ぶ躯体のコンクリート打設に工夫を求められた。1日の打設量を小割りし、通常の2倍の打設回数で対応することとなった。打設開始は2021年11月、完了が22年6月。冬期を経ているため打設・養生ともに気温差への配慮に細心の注意を払った。

品質と精度、こころざしを込めた校舎

「打設階数の増加はコストを上げますがその半面、精度や品質確保をより高いレベルで管理できます。最終的にどちらにメリットがあるか、限られた工程計画の中で時間を活用しました」（藤田工事長）

校舎内はコンクリートの打ち放し仕上げが主たる内装だ。冷ややかな印象を与えないよう、目地の仕上げに注意し品質向上を図った。そのなかでメディア棟にしつらえた丸柱には、本実型枠を用いて杉の木の紋様を写し取る方法が採用され、高さ6㍍の柱を型枠の反復利用無しで施工した。

「モックアップで3回、試験施工しました。今ではこの方法で施工できる職人も少なくなり、若手には良い勉強の機会になったと思います」と語る藤田工事長には、清水建設のブランドを背負ったプライドが感じられる。藤田家は五代にわたって清水の建築に携わる家系で、工事長は四代目にあたる。無事に引き渡しを済ませた晴れやかな笑顔には、もの作りは楽しいというメッセージが込められていた。

校舎全景

工事概要

■工事名称：流通経済大学付属柏中学校新築工事
■工事場所：千葉県柏市十余二１－20
■施　　主：学校法人日通学園
■監理監修：ＮＸ不動産株式会社
■設計・監理：清水建設株式会社一級建築事務所
■施　　工：清水建設株式会社千葉支店
■敷地面積：全体3,9745.76㎡
■構造・規模：教室棟ＲＣ造４階建て、メディア棟ＲＣ＋Ｓ＋Ｗ造３階建て、渡り通路Ｓ造２階建て。建築面積3,074.17㎡（既存7,084.23㎡、延床面積・校舎棟3,756.59㎡、メディア棟2,725.74㎡、渡り廊下91.45㎡（既存16,929.98㎡）
■工　　期：2021年10月～22年12月

施工
清水建設株式会社
千葉支店
千葉市中央区富士見 2-11-1
電話 043(227)0231

■ 空調・給排水衛生・電気設備工事 ■
DS 第一設備工業株式会社
東京都港区芝浦 4-15-33
電話 03(5443)5100

■家具工事
愛知株式会社 東京本部
東京都中央区新川1－17－25　電話 03(6222)0816
■床貼工事
大阪装飾株式会社 東京タピー支店
千葉市稲毛区稲毛東3－3－9　電話 043(302)3031
■耐火書庫扉工事
株式会社 オカムラ つくば支店
茨城県つくば市緑ケ原1－2－2　電話 029(847)0131
■ガラス工事
沖ガラス株式会社
東京都墨田区本所4－19－3　電話 03(5637)7480
■天井化粧木毛セメント板及び内装工事
株式会社 オクジュー
東京都千代田区神田錦町1－19－1　電話 03(3293)0910
■測量工事
開正測量株式会社
千葉県柏市柏5－11－3　電話 04(7168)2007
■植栽工事
鹿島花壇土木株式会社
茨城県神栖市柳川1707　電話 0479(46)0044
■塗装工事
建装工業株式会社
千葉県市川市田尻2－4－20　電話 047(314)2420
■金属製建具・間仕切工事
三和シヤッター工業株式会社 千葉営業課
千葉市中央区末広4－19－16　電話 043(266)3351
■デッキプレート工事
シマ建材工業株式会社
東京都台東区上野7－12－13　電話 03(5828)6131
■鍛冶工事
株式会社 翔栄
茨城県守谷市本町3292－11　電話 0297(45)1620
■鳶工事
株式会社 新青建設
千葉市中央区中央3－9－12　電話 043(306)6840
■木屋根工事
株式会社 翠豊
岐阜県加茂郡白川町赤河358－1　電話 0574(73)1458
■鉄骨工事　Hグレード
スピック株式会社 成田工場
千葉県富里市十倉686－77　電話 0476(94)1351
■タイル工事
株式会社 泰正
千葉県市川市幸2－12－18　電話 047(397)1351
■鉄筋工事
高千穂鉄筋株式会社
千葉県白井市神々廻1828　電話 047(491)5272
■全面床吹き出し空調システム
株式会社 テクネット
東京都中央区京橋2－18－3　電話 03(6271)0418
■黒板・白板・掲示板
株式会社 東京黒板製作所
東京都板橋区熊野町11－7　電話 03(3959)1551
■左官工事
西谷工業株式会社
東京都板橋区新河岸2－9－26　電話 03(5968)0787
■浄化槽設備工事
藤吉工業株式会社 東京支社
東京都中央区新川1－15－11　電話 03(3297)8261
■型枠工事
星建設株式会社
千葉県船橋市藤原8－14－1　電話 047(430)1883
■揚重用ラフタークレーン
マルサン重機建設株式会社
千葉県市原市八幡北町3－2－7　電話 0436(43)5151
■図書メディア書架工事
丸善雄松堂株式会社
東京都港区海岸1－9－18　電話 03(6367)6061
■伐採工事
株式会社 マルトシ
千葉県東金市山田1315－1　電話 0475(50)3701
■既製コンクリート杭工事
三谷セキサン株式会社 千葉営業所
千葉市中央区新田町7－5　電話 043(242)8778
■斫・解体工事
株式会社 裕木工業
千葉市中央区星久喜町811　電話 043(266)6689